

学校 教育 目標	<心をつなぎ 笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子> ○めあてに向かって 粘り強く取り組み 互いに学びあえる子を育てます。(知) ○自分も友達も大切に 心豊かな子を育てます。(徳) ○心と体を大切に たくましく生きる子を育てます。(体) ○住んでいるまちのよさを知り 共に生きていこうとする子を育てます。(公) ○社会への視野を広げ 柔軟に対応できる子を育てます。(開)				
	学校概要 創立 47 周年 児童生徒数: 231 人	学校長 竹下 護 主な関係校: 平戸中・平戸小・品濃小・東品濃小	副校長 岩井 亜紀	2 学期制	一般学級: 9 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	平戸中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する力>	平戸中 平戸小 東品濃小 品濃小	自ら学び、互いの違いを認め、思いやりの心を持ち、 地域や社会とのつながりを大切にすることも ①「児童生徒が主体的に学ぶ授業づくり」を小中合同で研究・実践・評価する。 ②自分や他者共に認め合う心を育む。 ③地域の「ひと・もの・こと」とのつながりを重視した取組を推進する。

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりの思いや願いを大切に、自ら学び続ける児童を育てます。 ・1年目は、わかるかも、できるかもから学習の楽しさを実感できる授業づくりを進めます。 ・2年目は、子どもの表現を大事にしながらかつた伝え合う力を育てます。 ・3年目は、伝え合うことで自分の考えを深めることができるようにします。 ○日々の観察とデータを活用しながら、子ども一人ひとりの変化を捉え、学びの充実に生かします。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究推進・学習評価</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	研究推進・学習評価	①指導を明確にして、育成する資質・能力に合った単元づくりをする。②ICT機器を活用して、児童が自分にあった方法を選択できるような支援や、課題解決を図るための協同的な学びを意図的に授業で行う。③粘り強く自己調整を図ることができるように、学び方を適宜指導し、自分自身の学びを選択しながら学ぶことができるようにする。
知	授業改善				
担当	研究推進・学習評価				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>人権教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権児童委員会</td> </tr> </table>	徳	人権教育	担当	人権児童委員会	①たてわり活動や異学年交流を通して、相手の話をよく聞き、互いの人格を尊重し、思いやりをもった心情や態度を育てる。②校内や地域等日常的に、気持ちのよい挨拶や返事をしたり、コミュニケーションの大切さを自分事として捉え、考えて行動したりする子どもを育てる。③体験活動を多く取り入れ、豊かな感性を育てる。
徳	人権教育				
担当	人権児童委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>健康安全委員会</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	健康安全委員会	①教科学習、たてわり活動、朝ヨガ等を通じて体を動かす機会を設け、運動の楽しさを感じられるようにする。②学級活動、給食指導、教科指導(保健)、学校保健委員会等を通じて、健康に対する意識を高める。③体力テストを基に児童の実態に合った体力の向上を意識した授業づくりを行う。
体	健康教育				
担当	健康安全委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>自分づくり教育 (キャリア教育)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	担当	教務部	①ICTなどを利用して、自らの学習状況を俯瞰し、自分自身を振り返ったり、今後を見通したりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。 ②他者との関わりの中で、自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)				
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権児童委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	人権児童委員会	①児童アンケートや普段の様子などから人間関係や集団特性を捉え、「きょうしつ」を合言葉に、いじめの未然防止と早期発見に努める。②学校いじめ防止対策委員会や職員会議内での児童の情報共有の場などにおいて、全職員で共通理解をするとともに、いじめに対し、組織的に対応する。③できたことを価値づけたり、よさを認め合ったりすることで、自他を大切にすることを培い、自己肯定感を高める。また、日常的に、いのちの大切さも伝えていく。
いじめへの対応					
担当	人権児童委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・ 組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部・メンターチーム</td> </tr> </table>	人材育成・ 組織運営(働き方)		担当	教務部・メンターチーム	①メンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心に、児童指導や教科指導について継続的に学ぶ。②主幹教諭がリードしながら、年齢や経験値を超えて相談しやすい職員集団をつくる。③会議の議題を精選し、時間短縮を図るとともに、持続可能な学校づくりを目指して働き方改革に努める。
人材育成・ 組織運営(働き方)					
担当	教務部・メンターチーム				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">児童指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権児童委員会</td> </tr> </table>	児童指導		担当	人権児童委員会	①ルールやきまりの意味と大切さを児童とともに考え、安心して過ごせる学校づくりを目指す。②児童の意見を聴きながら、学習や生活のきまりを適宜見直し、全職員で共通理解を図り、チームで指導する。③児童一人ひとりの思いや状況に寄り添いつつ、指導すべきところは毅然とした態度で指導し、家庭や地域、関係機関と連携しながら、児童のよりよい成長に繋げていく。
児童指導					
担当	人権児童委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">個に応じた学習指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究推進・学習評価</td> </tr> </table>	個に応じた学習指導		担当	研究推進・学習評価	①算数少人数指導などを通して、児童の実態に合わせた課題への指導を行うことで、分かりやすい指導に取り組む。②年間を通して、入り込みや取り出しなどの個に応じた指導を計画的に行うことで、安心できる学習環境を整える。 ③国際教室では、多文化を尊重しながら、言葉の理解が深まるようにする。
個に応じた学習指導					
担当	研究推進・学習評価				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権児童委員会</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	人権児童委員会	①全職員が特別支援教育に関する知識を積極的に学び、児童についての共通理解を図り、組織的に対応する。②一般級と個別支援級の細やかな連携が図れるよう、情報共有を密に行う。③個別の教育支援計画、指導計画を有効的に活用するとともに、家庭や関係機関と連絡を密に取り、支援の必要な働きかけを速やかに行う。
特別支援教育					
担当	人権児童委員会				